

2019年3月期 第3四半期決算説明資料

2019年1月18日

P3 第3四半期 損益計算書(連結)

P4 事業の種類別セグメント

【広告事業】

P5 第3四半期 損益計算書

P6 四半期売上高の推移

P7 品目別売上高の推移

P8 従業員の状況

【不動産事業】

P9 第3四半期 損益計算書

P10 第3四半期 連結貸借対照表

P11 通期予想進捗状況

第3四半期 損益計算書(連結)

	当第3四半期累計期間	構成比	前第3四半期累計期間	構成比	前年同期比
売上高	9,316	100.0%	10,238	100.0%	91.0%
営業利益	636	6.8%	654	6.4%	97.2%
経常利益	650	7.0%	675	6.6%	96.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	418	4.5%	486	4.7%	86.0%

- パチンコホール業界においては、ユーザーの参加頻度や投資金額が減少した結果、収益面で厳しい状況が続いています。また、昨今の依存症対策や射幸性抑制を目的とした業界規制の強化の流れを受け、新規出店や新遊技機の積極購入といった投資意欲は、過去と比較しても著しく減退していることがうかがえます。
- 当社グループでは主力の広告事業において、収益構造の転換を図るべく、インターネットメディアの積極的な拡販活動を進めてまいりました。また、パチンコホール以外の広告領域においては、これまでの取り組みであるプリンティング事業の拡大、デザイン受託業務の強化に加えて、当期よりフィットネス業界向け広告領域に新規参入することで、収益の底上げに向けた取り組みを進めております。
- 結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,316百万円(前年同期比9.0%減)、営業利益は636百万円(同2.8%減)、経常利益は650百万円(同3.7%減)、親会社に帰属する四半期純利益は418百万円(同14.0%減)となりました。

■当第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	9,197	76	42	—	9,316
セグメント利益	949	52	▲117	▲247	636

■前年同期比

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	▲932	26	▲15	—	▲921
セグメント利益	▲41	28	▲26	21	▲18

□ パチンコホール広告事業が前年同期を下回ったことにより、連結ベースの売上高で921百万円減となりました。

□ その他に関しては、主としてカジノ運営事業における初期投資の償却負担等により、セグメント損失は117百万円となりました。

第3四半期 損益計算書(広告事業)

(単位：百万円)

広告事業	当第3四半期累計期間	前第3四半期累計期間	前年同期比
売上高	9,197	10,130	90.8%
営業費用	8,248	9,139	90.3%
セグメント利益	949	991	95.8%

外部環境>

- パチンコホール広告市場は、パチンコホール企業における収益性の悪化を要因とする広告費の削減が継続。
- 新台入替の頻度減少による告知需要の減少もあり、広告需要は著しく低迷する状況。
- 新規出店意欲の減退により、例年と比較し、新規出店は極端に減少。

当社の取り組み>

- 自社メディアである「パチ7」やDSP広告「パチアド」を中心としたインターネットメディアの拡販。
- 異業種向けプリンティング事業の拡大、デザイン受託業務の強化を推進。
- 新たにフィットネス業界向け広告領域に参入し、新規顧客開拓活動を開始。

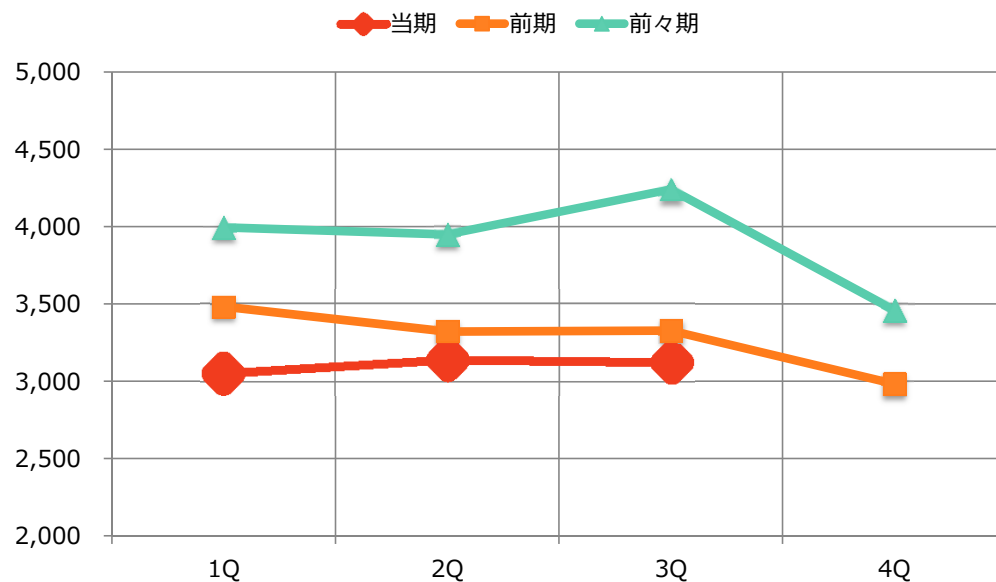
結果>

- 当社の取り組みは一定の効果をあげ、特に当四半期のインターネット売上高は前年同期比で54.3%の増加となりました。これらの取り組みの結果、売上高は紙媒体広告の急激な需要の減少の影響により9,197百万円(前年同期比9.2%減)となったものの、セグメント利益は、インターネット関連の自社運営サービスの販売増により販売マージン率が上昇した結果、949百万円(同4.2%減)となりました。

四半期売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
当期	3,053	3,140	3,004		9,197
前期	3,482	3,321	3,327	2,982	13,112
前々期	3,994	3,949	4,241	3,459	15,643



□当3Qにおける広告事業の売上高は前年同期に比べ、323百万円減少しました。

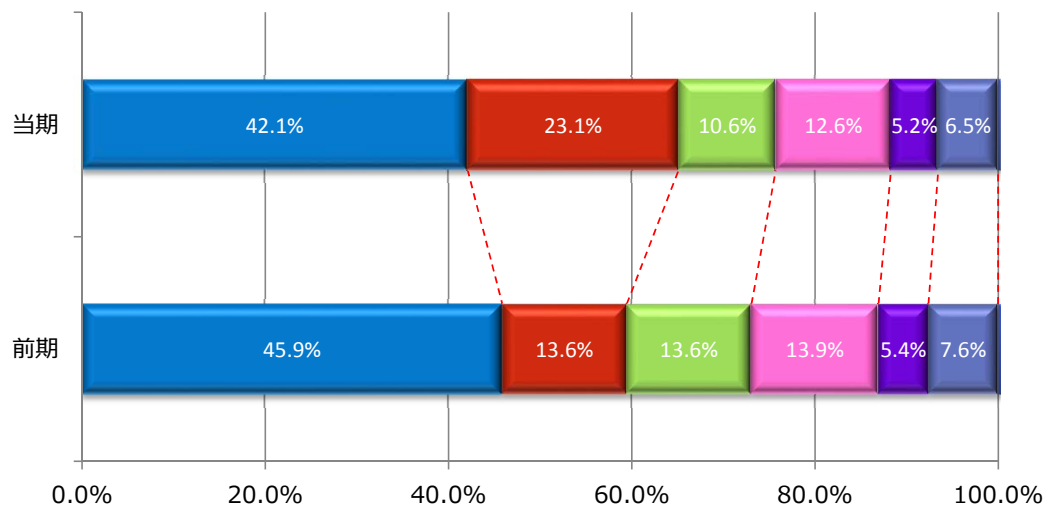
□新台入替の頻度減少による広告需要の減少や、広告予算の削減、更に年末の新規出店減少による大型の告知需要が極端に減少したこと等が影響しました。

品目別売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	当第3四半期	構成比	前年同期	構成比	前年同期比
折込広告	3,868	42.1%	4,646	45.9%	83.3%
インターネット	2,122	23.1%	1,375	13.6%	154.3%
販促物	974	10.6%	1,379	13.6%	70.6%
媒体	1,155	12.6%	1,405	13.9%	82.2%
クリエイティブ	474	5.2%	552	5.4%	85.9%
その他	601	6.5%	769	7.6%	78.2%
	9,197	100.0%	10,130	100.0%	90.8%

■ 折込広告 ■ インターネット ■ 販促物 ■ 媒体 ■ クリエイティブ ■ その他

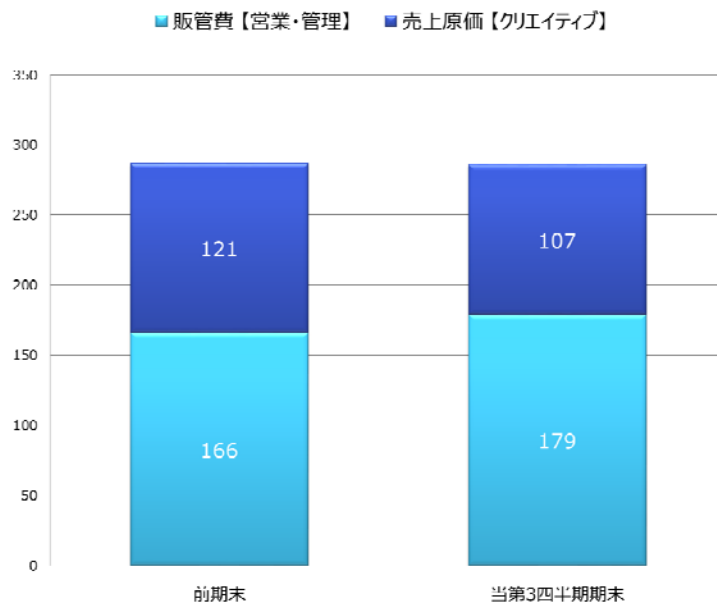


□ インターネット広告売上高は積極的な拡販活動により、前年同期比で54.3%の増加となりました。一方、折込広告を中心とする紙媒体の広告需要は減少しており、各商材とも前年を下回っています。

従業員の状況(広告事業)

(単位：人)

	前期末	当第3四半期期末
販管費【営業・管理】	166	179
売上原価【クリエイティブ】	121	107
広告事業計	287	286



- 営業・管理 : インターネット広告部門の増強
- クリエイティブ: 紙媒体広告需要の減少のため
- 結果、前期末と比較して1名の減少となりました

第3四半期 損益計算書(不動産事業)

(単位：百万円)

不動産事業	当第3四半期累計期間	前第3四半期累計期間	前年同期比
売上高	76	50	151.9%
営業費用	24	27	88.9%
セグメント利益	52	23	225.3%

□ 2017年2月に新規取得した千葉県柏市の土地の賃貸案件に加えて、パチンコホールM&A案件や、賃貸物件仲介案件(38百万円)を成約いたしました。

□ その結果、不動産事業の売上高は76百万円(前年同期比51.9%増)、セグメント利益は52百万円(同125.3%増)となりました。

第3四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (A)	当第3四半期期末 (B)	差額 (B) - (A)
現金及び預金	3,955	4,014	58
受取手形・売掛金	1,670	1,723	53
その他流動資産	167	153	▲14
有形固定資産	913	1,056	143
無形固定資産	122	107	▲15
投資その他資産	901	963	62
資産合計	7,731	8,018	287
支払手形・買掛金	908	922	14
短期借入金（一年内返済予定の長期借入金を含む）	440	455	15
未払法人税等	14	127	112
その他流動負債	204	297	93
長期借入金	520	550	30
その他固定負債	33	32	▲1
負債合計	2,121	2,385	264
株主資本	5,515	5,557	42
その他	94	75	▲19
純資産合計	5,610	5,632	22
負債・純資産合計	7,731	8,018	287

①連結子会社におけるスロットマシンの取得等による増加

②未払法人税等の増加

③四半期純利益＋418百万円、配当△376百万円

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期実績	2019年3月期 通期予想	進捗率
売上高	9,316	12,000	77.6%
営業利益	636	800	79.5%
経常利益	650	800	81.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	418	520	80.5%

- 当第3四半期連結累計期間における連結業績は、概ね当初計画どおり推移していることから、通期の業績予想については前回発表予想を修正していません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 管理部 Tel.03-5358-3334